

中部の未来創造大賞では次のような活動を表彰しています。

1. 住民、企業・学校、行政等が工夫して取り組んでいる地域づくりの活動で、以下に該当するもの

- 生活・自然環境の保全を行っているもの
- 景観の向上を行っているもの
- 観光資源として活用しているもの
- 地域づくりに関連した情報発信を行っているもの
- 資源の再利用を行っているもの
- 公共施設の整備にあたって、コスト縮減等に有効な新技術、新工法の研究開発を行っているもの

2. 災害時の人命救助、復旧活動や防災に関する活動

3. 伝統的な建造物の保存、復興等を行っている活動

第22回「中部の未来創造大賞」の募集 ■令和3年5月下旬に募集開始予定

選考を終えて（表彰委員より）



委員長

三重大学名誉教授

渡邊 悌爾

わたなべ ていじ

応募された活動は、長年地域の環境保全や地域づくり、防災活動などに取組まれ、地域の持続的発展のために貢献されました。

若い方々の活動も独創的で更なる発展への希望を抱きます。地道で継続的な活動に尽力下さった全ての団体に感謝と敬意を表します。

副委員長

駿府静岡歴史楽会 事務局代表

竹内 礼子

たけうち れいこ

地域づくりの活動には様々な形があり、これまでは大地に対して直接はたらきかける活動が目立っていたが、最近は近くの人にも遠くの人にも声をかけ力を出す人も見守るだけの人も受け入れ、その場では結果が出ない新しい形が生まれているように思う。

委員

名古屋大学大学院教授

小松 尚

こまつ ひさし

今回も長年、精力的に取り組まれた数多くの活動を審査できたことは、私にとってコロナ禍における清涼剤のようでした。中でも高校生による活動は、学習の域を超え、ポストコロナの未来創造を期待させてくれました。

委員

名古屋工業大学教授

増田 理子

ますだ みちこ

応募いただいた様々な取り組みを拝見し、多様性に驚かされました。特に高校生や若い子育て世代の取り組みなどが目を引きました。また、長年にわたって活動されている方々も多くこれからの中部地方の未来を担う役割を果たしておられることに感銘を受けました。

委員

中日新聞社事業局長

長坂 誠

ながさか まこと

地域に根ざした、郷土愛が伝わる活動が増え続けているのを実感し、うれしく頼もしく思う。活動歴に長短はあるものの、各団体とも若い人や女性の参画が増え、SNS等による情報発信も多彩で、新たな時代にふさわしい内容になっている。コロナ禍を乗り越え、活動の輪が一層広がると確信する。

委員

(一社)中部経済連合会常務理事

栗原 大介

くりはら だいすけ

各団体が、地域の発展・活性化のため継続的に情熱を持って活動に励んでいる姿に感動しました。

コロナ禍で閉塞的な時期だからこそ、各団体の取り組みがより一層地元のコミュニケーションを円滑にし、元気の源になるものと期待しています。

委員

国土交通省中部地方整備局 企画部長

林 正道

はやし まさみち

今回、所属や年齢を超えた多様な主体が地域課題の解決に一体となって取り組んでいる姿が印象的でした。コロナ禍にあっても、他団体とのつながりを深めるなど、ますます活動を活性化させている取組もあり、中部の未来を担う熱意を感じました。

こうした活動が、この地域の持続的な発展を支えていく原動力となることを期待します。

中部の未来創造大賞推進協議会

国土交通省中部地方整備局・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・静岡市・浜松市・名古屋市・中日本高速道路株式会社 名古屋支社
名古屋高速道路公社・独立行政法人 水資源機構 中部支社・地方共同法人 日本下水道事業団 東海総合事務所
独立行政法人都市再生機構 中部支社・公益社団法人 土木学会 中部支部・一般社団法人 中部地域づくり協会
一般社団法人 日本建設業連合会 中部支部・一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 中部支部・一般社団法人 長野県建設業協会
一般社団法人 岐阜県建設業協会・一般社団法人 静岡県建設業協会・一般社団法人 愛知県建設業協会・一般社団法人 三重県建設業協会
株式会社中日新聞社 後援／一般社団法人 中部経済連合会

FUTURE CREATION 2020

中部の未来創造大賞

主催／中部の未来創造大賞推進協議会

中部の未来創造大賞

で 検索

中部の未来創造大賞推進協議会事務局

国土交通省 中部地方整備局 企画部 企画課 — TEL (052) 953-8127

一般社団法人 中部地域づくり協会 業務管理部 — TEL (052) 962-9455

URL <https://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/mirai/index.htm>

